

### 3 大気環境の状況

自動車交通の集中している名古屋都市圏及び四日市地域において、大気環境への負荷軽減が進んでいない状況にあります。中部地方における大気汚染状況（平成20年度）を見てみると、環境基準が定められている5物質のうち、二酸化硫黄（ $\text{SO}_2$ ）及び一酸化炭素（ $\text{CO}$ ）についてはすべての県において環境基準を達成しています。

一方、二酸化窒素（ $\text{NO}_2$ ）については、一般環境大気測定局（一般局）ではすべての県で環境基準を達成しているものの、自動車排出ガス測定局（自排局）では環境基準達成率が三重県で85.7%、愛知県で88.6%となっています（他の県では、環境基準をすべて達成）。

また、浮遊粒子状物質（ $\text{SPM}$ ）については改善傾向にありますが、自排局の環境基準達成率で愛知県が97.1%となっています（自排局は、愛知県以外の全ての県で環境基準を達成）。一般局は、管内全ての県で環境基準を達成しています。

光化学オキシダント（ $\text{O}_x$ ）については、すべての県で環境基準達成率は0%でした（全国環境基準達成率は0.1%）。平成21年の光化学オキシダント注意報の発令延日数は、愛知県で9日、岐阜県で3日となっています。